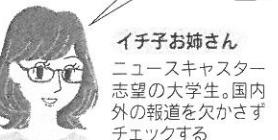


最高気温が35度以上の「暑日」が日本各地で目立つ。熱中症にならぬよう気をつけないといけないわ。



イチ子お姉さん  
ニュースキャスター  
志望の大学生。国内外の報道を欠かさずチェックする

からすけ イチ子の弟。中学生で、日々のニュースに興味を持ち始めたところ

なんだか毎年のように「今年の夏は暑い」とて聞かされている気がするよ。昔と比べて、猛暑の日って増えているのかなあ。

## ニュース 1から

# 温暖化・都市部の熱で増加

たような感じだから、想像するだけで暑くなるわ。

からすけ 昔より暑くなっているみたいのは、やっぱり地球の温暖化せい?

イチ子 暖化はわかってないことも多いけど、気象局は、21世紀末ごろには20世紀末に比べて、夏の最高気温が全国平均で2~3度上がり、年間の猛暑日も7~8日増えると予測しているわ。都

市部では車の排ガスやエアコンの排熱などがこもるヒートアイランド現象も暑くなる原因みたい。アスファルトと高層ビルに囲まれると、数字以上に暑く感じる面もあるわ。

## 「ゲリラ豪雨」も発生

雨が降るとダムに水がたまり、そのまま水位が上昇して、堤防が決壊する。また、河川が氾濫する。たなかつたり、家畜や養殖している魚が弱つたりして、市場に出回る量が減つて値段が上がってしまうわね。ただ、なかたまらないそよう。

からすけ 農作物を育てるのもたいへんだよね。

イチ子 暑さや雨の降り方が変わると、野菜がうまく育たなかつたり、家畜や養殖している魚が弱つたりして、市場に出回る量が減つて値段が上がってしまうわね。ただ、なかたまらないそよう。

からすけ 例えれば、よく行くビアガーデンもにぎわっているみたい。日本の最高気温「40・9度」を7年に記録した埼玉県熊谷市では、日本一暑いことを街の宣伝に使っているわ。「HOT(ホット)」は「暑い」のほかに「辛い」という意味もあるので、飲食店で辛口メニューを出して盛り上げているのよ。

イチ子 日本では明治時代から国が気象観測を続けてきたわ。気象庁が猛暑日という言葉を使い始めたのは2007年だけだ。記録が残る年までさかのぼって猛暑日が毎年何日あつたかをグラフにする

と、東京では確かに猛暑日が増えているようね。

からすけ そうなんだ。天気予報ではよく「あしたは高気圧に覆われて暑くなりそう

です」と言ってるよね。

イチ子 夏に日本の空に張り出している太平洋高気圧よ。

からすけ 上昇とともに冷やされて雲に強い日差しで暖められた空気や都市の熱

太平洋高気圧によって送り込まれる暖かく湿った空気

で、太平洋高気圧のところ

で吹き降りる風と一緒になつて高気圧を強める。上空を

西から東に吹く偏西風という風も日本の近くで北向きにう

ねって、太平洋高気圧が張り出しあやすくなっているのよ。

からすけ 高気圧がずっといるから暑いんだね。

イチ子 それに、大陸のチベット上空にある高気圧が太平洋高気圧と重なって、2階建ての状態になることもあり

よう。布団を2枚重ねにし

て、初めて中止になったのよ。

からすけ どうして急に大雨は「ゲリラ豪雨」ともい

うわよね。東京の隅田川花火大会も、今年は突然の雨と雷

で雨が降るんだろう。

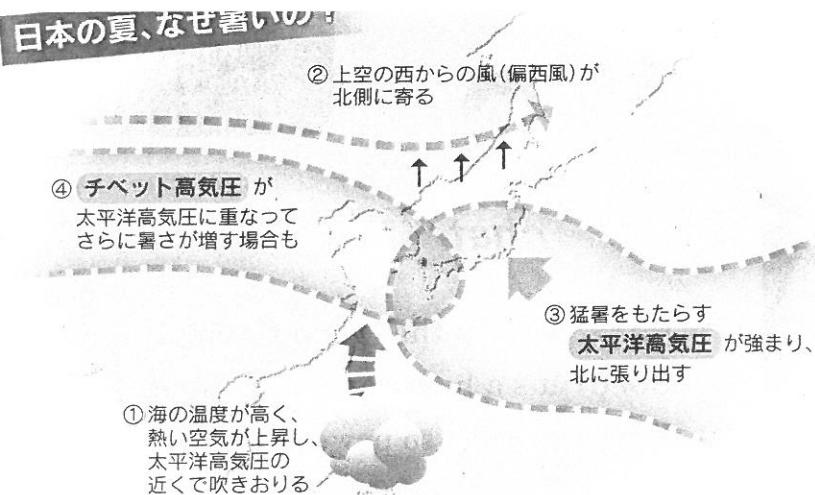
イチ子 太平洋高気圧から

かかる人が増えるのも心配だ

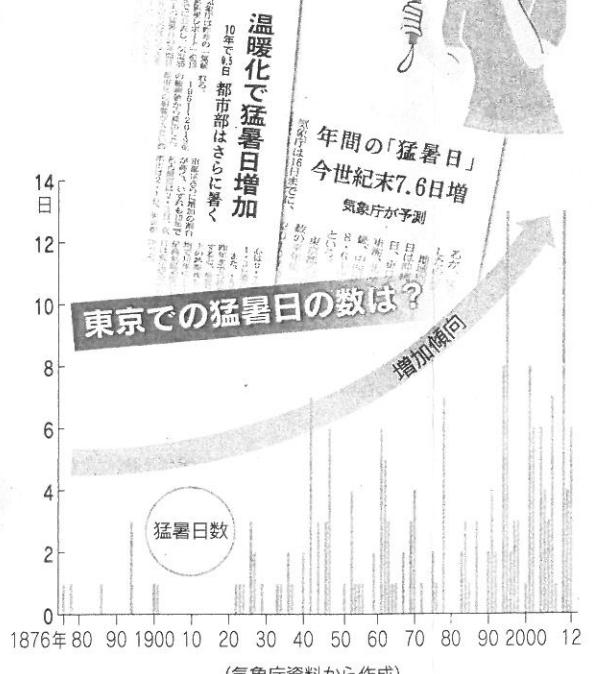
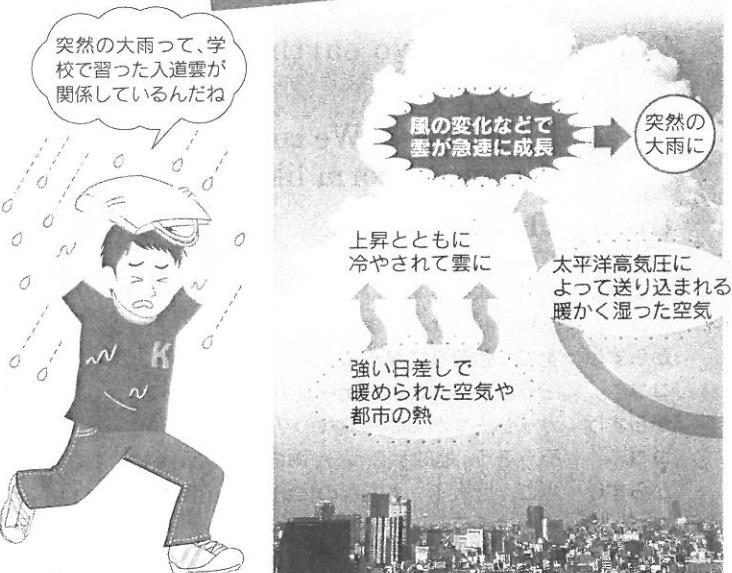
し、猛暑続きだと地域によつては水不足も心配ね。猛烈な

風を生み出しました。

# 猛暑日、増えているの?



## 突然の大雨はどうして起こる?



## ニュースなテスト

次の文章を読んで、あととの問い合わせに答えなさい

気象庁が発表した8~10月の3カ月予報によると、8月は西日本を中心に全国的な①猛暑が続く見通しだ。

近年の都市部では、自動車やエアコンが排出する熱などがこもる②現象が気温を押し上げる原因にもなっている。

(日本経済新聞7月26日付朝刊社会面などをもとに作成)

### 問い合わせ

1. 下線部①について、その日の最高気温がセ氏何度以上になると「猛暑日」といいますか。

2. 空欄②に入ることばを答えなさい。

(答えは2ページ後)

代末期の吉田兼好は「徒然草」の中で「家のつくりようは、夏をむねとすべし」と書きとめるほど、一般的な建物は夏向きに造られてきました。雨戸や障子、ふすまをすべて開け、すだれやよしすで光を遮れば、家全体が風通しの良い木陰のような空間になるのです。日本には浴衣やうちわなど、暑さを和らげる工夫

を凝らしたもののが多くあります。夏の風物詩のひとつ、道路などに水をまく打ち水は、気化熱によって温度を下げる効果が注目されています。古い歴史がある京都の町家（商工業者の住居）では家の中庭に水を打ち、温度差を作つて空気を動かして、家の中を通り抜けする風を生み出しました。

自然環境に人の暮らしを順応させてきた日本人は、金魚の泳ぐ姿を眺める感覚的にも涼しくなる方法を考えました。そうそう、体の中がゾクッとするような怪談や肝だめしも忘れてはいけません。